

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北陸)	良くなる	スーパー（店長）	・競合店の状況を踏まえて、店舗としての施策を今後少し切り替えていけば、さらに伸びると予測している。
		観光型旅館（スタッフ）	・宿泊予約は4月が前年同月比106%、5月が同110%、6月が同103%、7月以降も前年を上回る予約を保有できている。間際予約が前年並みを確保できるかがこれからの課題である。
	やや良くなる	一般小売店〔精肉〕（店長）	・多少、客の財布のひもが緩んできているように感じる。購買意欲が旺盛になってきた感じはある。
		百貨店（売場主任）	・円安傾向でまだ市場への反映は少ないものの、徐々に景況感は上がっており、高額商品の動向が伸びつつある。
		百貨店（営業担当）	・今から3か月後はお中元商戦や夏のクリアランスセールも始まり、客の購買動向は上がっていくと思われる。特にお中元商戦は、早期承り期間に来店する傾向が強くなってきており、お中元商戦を中心として、クリアランスセールなどで上がってくるであろう。
		コンビニ（経営者）	・当店が属するチェーン店では、陳列量を増やしたりして、冬期間から夜間の売上を伸ばそうという取組をしている。これから気温上昇によって夜の客が増えるということから、売上も伸びてくるのではないかと希望的観測ではあるが期待はしている。
		衣料品専門店（経営者）	・県内のあるゴルフ場には、間違いなく客が戻ってきているという感じである。最近の土曜や日曜は、料金がいため敬遠されているコースが、2週間ほど前に申し込むとキャンセル待ちになり、かつキャンセルする組が一組も出てこないという状態にある。もっとも他のゴルフ場で1日5,000円で満員の所もあるが、別格かもしれない。
		家電量販店（店長）	・消費税率引上げ前にエアコンの前倒し販売が見込まれる。
		乗用車販売店（役員）	・消費税率引上げに向けても、この期待度の高い景気の好況感は維持されるべきものと思うので、悪くなることはないと思われる。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・現在の円安と株の動きにより、今後2～3か月はやや良くなると思う。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・本年のゴールデンウィークは、前半と後半の間に3日間の平日を挟むため、国内近場での外出消費が想定され、引き続き来客数の増加傾向が見込まれる。
		スナック（経営者）	・2～3か月先までは空気だけは良い状態であるか、業種による格差はあるが自動車関連など忙しいところがけん引してくれる気配を感じる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊や宴会の予約状況は好調を保っている。
		旅行代理店（従業員）	・個人客は相変わらず動きがみえない。しかし、明らかに団体の企画や見積り依頼が増えており、多に期待している。
		旅行代理店（従業員）	・アベノミクス効果の浸透により、やや良くなるであろう。
		タクシー運転手	・ビジネスホテルに、ビジネス客が少し滞在するようになったような気がする。
		通信会社（職員）	・サービス業界などの賃上げの動きを受け、地元中堅企業社員の間にも将来への不安感が和らぎつつある。
		通信会社（営業担当）	・夏モデルの発表が5月以降行われると予想され、その発売に伴い販売量も増加すると思われる。
		競輪場（職員）	・レースを絞って購入する客が増えている。2～3か月後はグレードの高い開催が続くため、来客数、売上ともに、増加するのではないかと予想している。
		その他レジャー施設（職員）	・卒業や入学の時期が落ち着き、子供のカルチャー系、スイミングスクールへの入会が少しずつではあるが増えてきている。
		住宅販売会社（経営者）	・消費税率引上げ前の駆け込み需要により、2～3か月先の景気はやや良くなると思われる。
		住宅販売会社（従業員）	・高級住宅では消費税率引上げによる駆け込み需要はあまりみられないが、値頃感のある注文住宅は5割近く的大幅な伸びを示している。一方で、円安からくる資材の高騰がここに来て顕著になってきている。受注面は大幅に伸びるが利益面でそれに伴った伸びは期待できない。
住宅販売会社（従業員）	・春の需要を取り込むため、各社の広告も増え、消費税率引上げ前までにどれだけ受注が積み上げられるかの競争になっている。今契約しても秋以降の着工という会社も増えており、また、円安傾向も相まって価格の上昇の対応になりつつある。		

	住宅販売会社（従業員）	・4月1日から「木材利用ポイント制度」がスタートし、最大60万ポイント（60万円分）もらえるため、今後ますます客の動きが活発になると考えられる。
変わらない	商店街（代表者）	・世間で言っているほど、購買意欲につながるものが無い。
	商店街（代表者）	・今年は寒い日が続き、これから一気に暑くなると、春物が全く売れなくなってしまう。資金繰りなどが苦しい会社が増えそうだ。
	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	・景気マインドとしては良いが、給料が増えて可処分所得が増えているわけではないため、当面はそれほど消費が増加することは無いと考える。
	一般小売店〔事務用品〕（役員）	・25年度は様々な建設計画や事業が予定されているため、需要はあると思うが、景気が上向きかどうかということは、我々の業界は半年後になるのか1年後になるのかそういった状況はまだ不透明なため、何ともいえない。
	百貨店（営業担当）	・若干ボーナスも上向き加減と聞いているため、一部高額品関係も期待できると思われる。なお、今からクールビズやクールライフといった夏商戦に入るが、やはり商品自体の機能性あるいは付加価値といった物が客に伝わっていかないと、従来の夏物では厳しい気がしている。
	スーパー（店長）	・今月の現在の状況を見ても、周囲やマスコミおよび円安の景気感があまり食品スーパーの現場では反映されていないのが実状であると思われる。実際に数値的にみても、良く上がっていないのが現状である。天候状況についても、非常に寒暖の差が激しかったのが一因といえる。今後はこういったことも含めて、気温や天候の上昇を期待しつつ、販売に注力していきたいと思っている。
	スーパー（総務担当）	・ガソリンや小麦の高騰、円安により、実質家計は圧迫されている。現状は、食品に対する購買の影響は生活必需品であることより微小であるが、来年の消費税率引上げとなれば、影響が出るとされる。
	スーパー（店舗管理）	・ようやく前年同月水準に戻っただけである。来客数は上がっても、客単価や買上点数などは前年同月にも満たない点を見ても、景気が良くなっていくとは思えない。
	コンビニ（店舗管理）	・円安による「食料品の値上げ」が押し寄せている。小売価格に転嫁できるほどの空気感も無く苦しんでいる。一方、アベノミクス効果による景気浮揚も見込まれ、相殺されると思われる。
	衣料品専門店（経営者）	・景気の良い話が聞こえてこないわりには、製造原価が上がっているとか消費税率引上げなど不安な話の方が多い。
	衣料品専門店（総括）	・客の様子をみていると、購入するまで非常に長く考えている。欲しいと思ったものは迷わず買うという思考に全くなっていない。
	家電量販店（店長）	・話題性の高い商品は発表されているが、客の問い合わせは少ない。来店時の購入点数も減少している。
	家電量販店（管理本部）	・一般消費者の収入が増えているという実感が無いように思える。
	乗用車販売店（経営者）	・現在使用している車が古くなり買い換えている状況が多く、新商品だから積極的に購入するという状況ではないため、しばらくはこの状態が続くと思う。
	自動車備品販売店（従業員）	・主力のナビゲーションの単価下落が大きく明るい兆しが見当たらない現況で、新たな施策を企画してはいるが即効性を欠き、見通しは暗い。
	住関連専門店（店長）	・かなりの無理をしておける住宅の新築では、その他に使える予算が無さそうである。景気回復にはまだまだ時間が掛かる。
	その他専門店〔酒〕（経営者）	・当地や当業種が良くなってくるとは1年以上は掛かると思っている。また、北朝鮮、中国や韓国との問題があるため、これも景気の足を引っ張っているのではないかと懸念する。
その他専門店〔医薬品〕（総務担当）	・化粧品は、ドラッグストアの主力である中級クラスの商品の動きが悪く、客の財布のひもは固いものの、カテゴリーを問わず低価格帯商品への需要が高い。	
高級レストラン（スタッフ）	・アベノミクス効果など景気の上向きを期待するが、現在の受注状況では影響を感じられない。	
一般レストラン（店長）	・景気回復を期待したいが、地方への波及には時間が掛かりそうだ。	
観光型旅館（経営者）	・旅行会社の動きとしては、北陸方面への送客は新幹線開業まで控えているように思われ、依然として集客が厳しい状況には変わらないように思われる。	

	都市型ホテル（スタッフ）	・高額品が売れるというニュースも目にするが、消費者の一部の動きであろう。足元の景気は確かに明るさもみえているが、価格には非常に厳しく販売価格は下げ止まっていない。価格を少し上げると売上は減少するため、より付加価値やお得感を打ち出さないと売れない。また、仕入原価が上がっていても転嫁ができない。
	タクシー運転手	・天候も良くなって人出はあると思うが、あまり大きな変動は無く、変わらない状態が続くと思う。
	通信会社（営業担当）	・解約数は減少傾向にあり、新規契約数の伸びに変化も無く、現状上向きとも下向きともいえない状況である。
	テーマパーク（職員）	・先行予約をみても、引き続き海外からのインバウンド客は好調に推移すると思われるが、一方、国内の団体や個人の予約状況は前年同月よりやや鈍い状況にあり、トータルとしては前年同月並みの状況が続くと思われる。
	美容室（経営者）	・美容室で消費マインドが上昇している感はまだ無い。
	住宅販売会社（従業員）	・消費税率引上げの駆け込み需要によるものであり、個人の所得改善はまだまだ感じられず、力強さに欠けている。
やや悪くなる	一般小売店〔書籍〕（従業員）	・原油高や為替の動向など家計に直結する不安要素が多くあり、良くなるとは思えない。
	スーパー（総務担当）	・円安の影響が水道光熱費の増加につながるため、基本的な生活用品の需要は増加しない。
	スーパー（統括）	・今後3か月はやはり異業種であるドラッグストアやコンビニエンスストアの高速出店の状況にあり、また、客が価格により購入先を選んでいることより、厳しい状況にあると思う。
	コンビニ（経営者）	・来客数の微増傾向が続き、また、客の同じ商品であれば安い物を買うという傾向は変わらず続くと思われる。また来月にはすぐ近くに競合店も出店し、来客数の減少はやむを得ないところであり、売上の的には下がっていくと想定される。
	コンビニ（店長）	・景気回復はニュースなどで言っている以外全く実感できない。前年は競合店の出店などもあり苦戦した1年であったが、今年は外的要因の変化が無いにもかかわらず、前年同月割れしている状況にある。良くても変わらない、最悪悪くなると感じている。良くなることを期待していただけに過度の期待感があるのかもしれないが、実際に前年同月比割れしている。
	通信会社（役員）	・従来の有線によるインターネット契約から、無線化が急速に進展しており、ケーブルテレビにおける新規契約獲得環境には厳しさが増している。
	悪くなる	-
	良くなる	-
企業動向関連 (北陸)	やや良くなる	-
	繊維工業（経営者）	・円安の好影響が輸出関連での受注増に良い影響を与えようである。また、国内の消費が上向くこと、そして、輸入品の価格上昇により、国内生産品との価格差も縮小し、受注環境の改善が期待できる。
	繊維工業（経営者）	・国内の今年の秋冬の生産量は、前年よりは増えていくだろうと思う。
	一般機械器具製造業（経理担当）	・円安状況が続くことが条件となると思うが、徐々に、国内消費が回復してきていると感じる。一方で輸入材の高騰懸念もあり、この部分の価格上昇の具合、政策がポイントとなってくる。
	一般機械器具製造業（総務担当）	・国内は「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」の結果が発表されるので、受注額が増えると予想している。また欧米からの受注も、円安により増加が見込まれる。
	建設業（経営者）	・前年は8月頃まで公共工事の発注がほとんどなかったが、今年はゴールデンウィーク明けから、地方自治体がかなりの量の公共工事を発注するといわれており、それに期待したい。
	通信業（営業担当）	・北陸新幹線などの影響もあり、建設需要も若干でも出てくると思われるため、将来的には底上げの要因になり得る。
	金融業（融資担当）	・景気の指標のうち幾つかが継続して良くなっており、期待感が高まることによって、将来の設備投資や消費者の消費マインドが高まれば、この先の景気の改善につながる。
	金融業（融資担当）	・株価上昇などの心理的なプラス要因が、現在はまだイーブンであるが数か月後にはプラスに作用してきて、個人消費についても伸びていくというように判断される。大都市圏については既にその動きがあるようであるが、北陸地区ではまだであり、それが波及してくるのは3か月程度掛かるであろうと判断される。まだ消費税率引上げがマイナスと読むには早すぎるということにより、当面はマイナス要因よりもプラス要因の方が大きく働きやすい効果がみえると思われる。

	不動産業（経営者）	・個人や法人の方からは、まだ特に景気がいいという話は聞けないが、同業者関係に聞くと、この後2～3か月先ぐらいに期待感はあるといった話が聞けた。	
	司法書士	・消費税率、住宅ローンの貸付金利などの引上げが予想されるなか、個人住宅の新築が増加すると思われる。	
	税理士（所長）	・これから先、やはり景気の気分というものが良くなってきた感じがする。これから夏のボーナスがもう間近に近づいているが、是非引上げの形でいくことを期待したい。公務員関係は下げる方向になるが、本来ならばそれでも上げる方向で政府も努力してほしいし、公共工事の認可単価もまだ下がったままの業種が多いので、とにかく付加価値を付ける、付加価値に予算を投じる、企業も付加価値に先行投資することにより1人当たりの価値を上げないと消費税率引上げにも耐えられないため、そこに期待したい。これがないと中割れするという心配がある。	
変わらない	食品品製造業（役員）	・主原料の単価が幾分下がってくるが、副原料および燃料費が上がってきており、今後2～3か月先をみれば変化は無いと予測している。	
	プラスチック製品製造業（企画担当）	・やはり住宅市場は来年の4月の消費税率引上げの影響が出るのは、今年の年末ぐらいからであり、3～4か月先では今の状況が変わらないとみている。	
	金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の分の注文の入り具合をみると、今月と変わらないと思われる。	
	精密機械器具製造業（経営者）	・為替の影響はプラス側には作用するものの、2～3か月の期間では、国内は好調であり、海外は厳しいという状況は、総合的にはまだ変化しそうにない。	
	建設業（総務担当）	・消費税率の引上げ前に工事発注の動きが少し出てきた。また、官公庁工事の発注予定が増加見込みであるが、技術者が限られており、応募することが難しく、業況は依然として現状維持と予想される。	
	輸送業（配車担当）	・世間は景気が上向きとの判断だが、輸送業界は円安による燃料費の高止まりによるコスト負担が運賃に転嫁できず、今後極端に良くなるとは思えない。	
	やや悪くなる		
	悪くなる	-	
雇用 関連 (北陸)	良くなる	-	
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・今後、求人数が増えるにつれて人材確保が厳しくなるため、時給単価上昇など待遇改善に努め、より良質な人材確保をしていかなければいけないと考えている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・建設などの業界を中心に人手不足の感じが引き続きある。求人広告への波及効果はまだ不透明である。
		職業安定所（職員）	・新規求人の増加傾向と新規求職者の減少傾向が続いており、懸念材料であった製造業の求人にも回復傾向が出てきている。
変わらない	人材派遣会社（役員）	・一時的欠員補充のための人材需要は発生している。長期安定的な増員計画まで発展しそうもない。	
	求人情報誌製作会社（編集者）	・正社員を募集する企業がまだ伸びてきていない。	
	職業安定所（職員）	・県内の主要産業である製造業の求人数の回復がみられないため、2～3か月先の景気は変わらないと思われる。	
	職業安定所（職員）	・今後の状況に期待感を持つ企業が増えているように感じるが、円安の影響もあり、全体的には変わらない。	
	民間職業紹介機関（経営者）	・新年度予算が執行されても、景気回復に効果が出るまで6か月～1年くらいは掛かると思われる。	
	やや悪くなる	-	
	悪くなる	-	